

水産海洋地域研究集会

第3回日本海研究集会 日本海の水産資源と環境・地域社会を考えるシンポジウム
「みえる水（河川表流水）・みえない水（地下水）を通じた陸域と海域のつながり」

共 催：水産海洋学会・福井県立大学

日 時：2013年11月9日（土） 13:00～17:00（受付12:30）

場 所：福井県立大学小浜キャンパス 多目的ホール（福井県小浜市学園町）

コンビナー：富永 修・田原大輔・杉本 亮（福井県大 海洋生資）

谷口真人（総合地球環境学研究所）

挨拶：和田時夫（水産海洋学会会長） 13:00～13:05

趣旨説明：富永 修（福井県大 海洋生資） 13:05～13:15

話題提供

座長 杉本 亮（福井県大 海洋生資）

1. スズキ稚魚に対する河川の役割 13:15～13:40

富士泰期（京大院 農学研究科）

2. 地下水流出が小浜湾の基礎生産に及ぼす影響 13:40～14:05

本田尚美（福井県大 海洋生資）

3. 浅海域の生物生産への海底湧水の寄与 14:05～14:30

小林志保（京大 フィールド研）

— 休 憩 —

座長 田原大輔（福井県 大海洋生資）

4. 小浜湾周辺の地質構造 —海に向かう地下水に関連して— 14:40～15:05

山本博文（福井大 教育地域科学）

5. 高校生の海底湧水調査 15:05～15:20

小坂康之・小畑有海・吉村浩希・小網 彩那（若狭高校）

6. 小浜市の地下水をめぐるステークホルダーの問題関心 15:20～15:35

馬場健司（法政大 地域研究セ）

7. 小浜市の地下水保全の取り組みについて 15:35～15:50

地村知代（小浜市役所上下水道課）

— 休 憩 —

討 論

座長 谷口真人（総合地球環境学研究所）・富永 修・田原大輔・杉本 亮（福井県大）

議論テーマ：地下水による陸と海のつながりを考える

地下水の海域での利用と陸域での保全 16:00～16:55

まとめと閉会 田原大輔（福井県大海洋生資） 16:55～17:00

開催趣旨：陸域の栄養が目に見える水（表流水）を通して海域へ供給されることは、良く知られている。しかし、海岸湧水や海底湧水として地下水により陸域の栄養が供給されていることは意外と知られていない。本シンポジウムでは、地下圏という新たな次元を加えることで、沿岸水産資源の生物生産や生物多様性に表流水だけでなく地下水がどのように寄与しているかを他海域の例も含めて紹介する。さらに、海底から供給される地下水（海底湧水）を沿岸の漁業へ活用するための提案と安定して持続的に地下水が供給されるために陸域の地下水保全をどのように進めるかを議論する。本地域研究集会では、生産者にとどまらず、環境活動団体や一般市民、高校生、大学生、研究者を対象として、陸域・海域ともに大切な資源である水をテーマに、その役割を理解するための機会を提供する。